



主催：東北大学 共催：国立研究開発法人科学技術振興機構

# サイエンスアゴラ in 仙台2019 & 東北大学SDGsシンポジウム

## 東北から「持続可能で心豊かな社会」を創造する

現代社会の抱える諸問題を解決し、人類が融和的に共存できる心豊かな未来を創造するため、本学は全学的な取組みとして「社会にインパクトある研究」を推進しています。本シンポジウムは「科学と社会の対話」をコンセプトに、「エネルギーの新たな価値観」や「プラスチックスマート」のあり方を研究者のみならず、行政・事業者・市民・学生等様々な立場の方々とともに考え、未来像を共有する2日間としたいと考えます。

※「サイエンスアゴラ」とは・・・  
サイエンスアゴラは、科学技術振興機構(JST)が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる人々が対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける共創のプラットフォーム構築を推進しています。2017年度より、ビジョンやテーマを共有する機関とともに共創活動の振興を図る連携企画を実施しています。  
<http://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

### セッション1 | 11月5日(火) 13:00 新たなエネルギー価値観が拓く持続可能社会

#### 基調講演「エネルギー関連技術への期待：環境行政の経験から」

13:05—14:00

東京大学大学院総合文化研究科 広域システム科学系 客員教授/  
東京大学先端科学技術研究センター 社会連携部門 シニアプログラムアドバイザー 小林 光氏



### セッション2 | 11月6日(水) 9:30 新たなエネルギー価値観創造に向けた科学と社会の対話

主催者挨拶 東北大学 理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当) 原 信義

共催者挨拶 国立研究開発法人科学技術振興機構 理事 佐伯 浩治

#### 基調講演「2050年のエネルギー産業：日本のエネルギーの大転換」

9:40—10:35

NPO法人国際環境経済研究所 理事・首席研究員 竹内 純子氏



### 科学と社会の対話

#### ①国や自治体の取組

11月6日 同時開催 東北大学「社会にインパクトある研究」ポスターセッション  
～東北大学SDGsチャレンジ～(会場：桜1)

<b>文部科学省</b> 研究開発局 環境エネルギー課長 横地 洋氏 10:45—11:00	<b>経済産業省</b> 資源エネルギー政策 統括調整官 覚道 崇文氏 11:00—11:15	<b>環境省</b> 地球環境局地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業企画官 加藤 聖氏 11:15—11:30
<b>宮城県</b> 副知事 遠藤 信哉氏 11:30—11:40	<b>富谷市</b> 市長 若生 裕俊氏 11:40—11:50	<b>東松島市</b> 副市長 小山 修氏 11:50—12:00
<b>仙台市</b> まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室 エネルギー政策担当課長 中道 由児氏 13:00—13:15	<b>仙北市</b> 総務部 地方創生・総合戦略統括監 小田野 直光氏 13:15—13:30	<b>志摩市</b> 産業振興部水産課 水産振興係長 山川 貴重氏 13:30—13:45

<b>②産業界の取組</b> <b>産総研</b> 福島再生可能エネルギー研究所 所長 中岩 勝氏 13:45—14:00	<b>大成建設株式会社</b> 設計本部設備計画部 部長 豊原 範之氏 14:00—14:15
---	--

### セッション3 | 11月6日(水) 15:00 JST・東北大学共催：JST 地域産学官社会連携分科会ワークショップ

#### プラスチックスマート：プラスチック問題から見るSDGs

東北大学 プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点キックオフ

<b>開催日</b> 令和元年 11月5日(火) <b>会場</b> 東北大学 片平さくらホール 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 (地下鉄東西線青葉通一番町駅より徒歩約10分)	<b>開催日</b> 令和元年 11月6日(水) <b>会場</b> 仙台国際センター 大ホール/桜1 〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山 (地下鉄東西線国際センター駅より徒歩約1分)	<b>参加費：無料</b> 懇親会：2,000円 <b>定員：800名</b> <b>登録締切：</b> 令和元年 10月31日(木) ※定員になり次第締め切ります。
---	--	---

登録方法：下記QRコードもしくは裏面FAX番号へお申し込みください。

**参加申込** 東北大学大学院環境科学研究科 環境研究推進センター  
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/news/event/e20191105-6.html> E-mail: [ercp@grp.tohoku.ac.jp](mailto:ercp@grp.tohoku.ac.jp)

東北大学社会にインパクトある研究 <http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/>  
東北大学エネルギー価値学創生研究推進拠点 <http://www.ifs.tohoku.ac.jp/jpn/ene-kachi/>  
東北大学プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点



WEB登録はこちらから

セッション1

新たなエネルギー価値観が拓く持続可能社会

- 13:00 開会挨拶 セッション1の狙い
13:05 基調講演 「エネルギー関連技術への期待:環境行政の経験から」
14:00 東北大学の取組

- 5.「再エネを利用した水素エネルギーシステム」
6.「日本の地熱エネルギー:現況と将来」
7.「社会にとって最適なエネルギー選択と環境政策の役割」

- 16:00 研究推進ディスカッション 「ますます重要となる地域と連携した取組」
16:50 総括

セッション2

新たなエネルギー価値観創造に向けた科学と社会の対話

- 9:30 主催者挨拶
9:35 共催者挨拶
9:40 基調講演 「2050年のエネルギー産業:日本のエネルギーの大転換」
10:35 「新たなエネルギー価値観創造」に向けた東北大学の取組

1. 国や自治体の取組

- 10:45 ①「イノベーションを通じた価値創造と大学への期待」
11:00 ②「2050年を見据えた今後のエネルギー政策について」
11:15 ③「地域ニーズに立脚した課題解決を目指す地域SDGsと気候変動対策の同時達成」
11:30 ④「宮城県における水素エネルギー利活用推進の取組について」
11:40 ⑤「とみやからはじまる未来の暮らし」
11:50 ⑥「SDGs未来都市 東松島市の取り組み」
12:00 昼食
13:00 ⑦「仙台市のエネルギー自律型まちづくりの取り組み」
13:15 ⑧「仙台市におけるSDGs推進に係る取組 -水素エネルギーの地産地活を目指して-」
13:30 ⑨「SDGs未来都市 志摩市の取り組み」

2. 産業界の取組

- 13:45 ⑩「再エネ水素をどう生かす? -福島からのアプローチ」
14:00 ⑪「サステナブル建築の実現に向けたSDGsとZEBの取り組み」
14:15 パネルディスカッション 「新たなエネルギー価値観の創造へ」
14:45 総括

セッション3

JST・東北大学共催: JST地域産学官社会連携分科会 ワークショップ

- 15:00 プラスチックスマート:プラスチック問題から見るSDGs
15:10 東北大学の取組(拠点の説明)
15:20 研究の最前線 「動脈産業と静脈産業をつなぐプラスチックリサイクル」
15:40 研究の最前線 「廃プラ問題と国際資源循環:持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて」
16:00 「プロスポーツにおけるプラスチックスマート」
16:10 「若者からみたプラスチックスマートと、若者たちによる実践」
16:20 「沖永良部島における海洋漂着物の対応」
16:30 「消費文明の終着点キリバス・SIDSから」(ビデオメッセージ)
16:40 質疑応答
17:00 総合討論 パネルディスカッション 「社会課題の解決に向けた自治体、大学、企業の役割を考える」
18:00 閉会挨拶

お申込み
参加希望の方は、下記 URL または FAX にてお申し込みください。
URL : http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/news/event/e20191105-6.html
FAX : 022-752-2236 (下記にご記入の上、送信下さい。)

FAX参加申込書
フリガナ
氏名
ご所属・役職
E-mail

参加希望
セッション1 (11/5)
セッション2 (11/6)
セッション3 (11/6)
懇親会 (11/6)
参加費: 2,000円 (学生無料)